

専門的

## ①介護保険制度の知識

社会の変動・将来予測／介護の社会化／  
高齢者・障がい者の生活ニーズ・支援

政策提言

支援困難事例

## ⑧地域アプローチ

コミュニティソーシャルワーク／地域把握力／  
ネットワーク形成力／保険者への政策提言

## ②コミュニケーション

相談面接力／伝える力／プレゼンテーション／  
相手から学ぶ力

実践的

## ⑦プロ意識と倫理

自立支援／職業倫理／使命感／  
信念形成／タフネス向上

全体的

## ③ケアマネジメント実践力

アセスメント能力／プランニング能力／  
コーディネート能力／モニタリング能力

指導的

## ⑥生涯学習・教育力

学習課題の発見／基本の反復／  
スーパービジョン

## ④多職種協働チーム活用力

医療看護の知識／保健予防の知識／  
リハビリテーションの知識／  
医療・介護サービスとの連携と活用

多面的

## ⑤省察的思考力

経験の意味づけ／失敗に学ぶ／  
自己理解／視野の拡大

包括的

日本介護支援専門員協会 会員レベルアップ研修 2017/1/14

### 3. (2) 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進 (その1)

#### CHASE・VISIT情報の収集・活用とPDCAサイクルの推進

- CHASE・VISITへのデータ提出とフィードバックの活用によりPDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図る取組を推進する。
  - ・ 施設系・通所系・居住系・多機能系サービスについて、事業所の全ての利用者に係るデータ（ADL、栄養、口腔・嚥下、認知症等）をCHASEに提出してフィードバックを受け、事業所単位でのPDCAサイクル・ケアの質の向上の取組を推進することを新たに評価。【告示改正】
  - ・ 既存の加算等において、利用者ごとの計画に基づくケアのPDCAサイクルの取組に加えて、CHASE等を活用した更なる取組を新たに評価。【告示改正】
  - ・ 全ての事業者に、CHASE・VISITへのデータ提出とフィードバックの活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの質の向上を推奨。【省令改正】 **R3.1.13 諮問・答申済**

#### 施設系サービス（介護療養型医療施設を除く）、通所系サービス、多機能系サービス、居住系サービス

##### <施設系サービス>

科学的介護推進体制加算(Ⅰ) 40単位/月 (新設)

科学的介護推進体制加算(Ⅱ) 60単位/月 (新設)

(※加算(Ⅱ)について、服薬情報の提供を求めない特養・地密特養については、50単位/月)

##### <通所系・多機能系・居住系サービス>

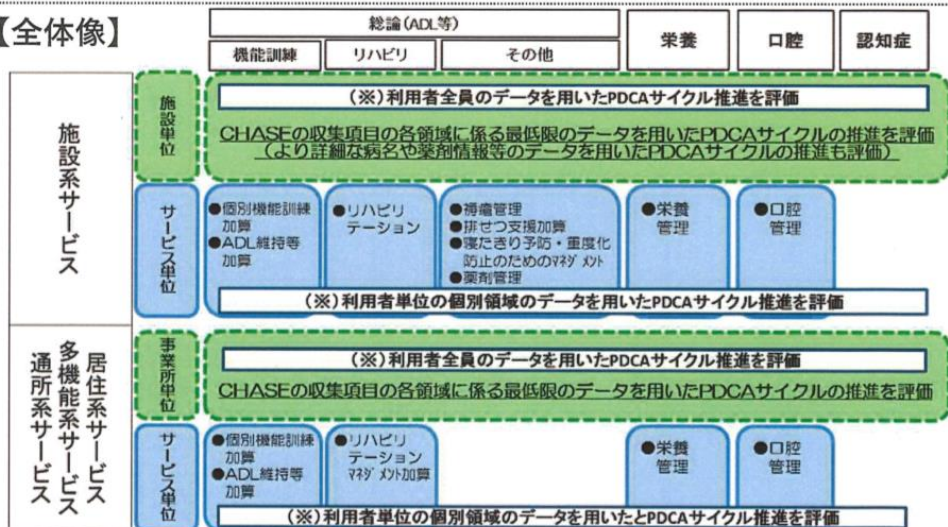
科学的介護推進体制加算 40単位/月 (新設)

[算定要件]

- イ 入所者・利用者ごとの心身の状況等（加算(Ⅱ)については心身、疾病の状況等）の基本的な情報を、厚生労働省に提出していること。
- ロ サービスの提供に当たって、イに規定する情報その他サービスを適切かつ有効に提供するために必要な情報を活用していること。

## 科学的介護 推進連携加算

#### 【全体像】

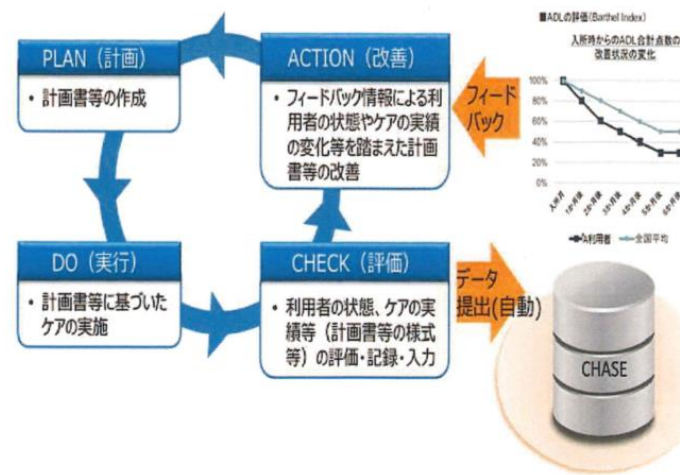


(※ 加算等による評価の有無に関わらず、すべてのサービスにおいてCHASEによるデータの利活用を進める。)

※ 令和3年度から、CHASE・VISITを一体的に運用するにあたって、科学的介護の理解と浸透を図る観点から、以下の統一した名称を用いる予定。

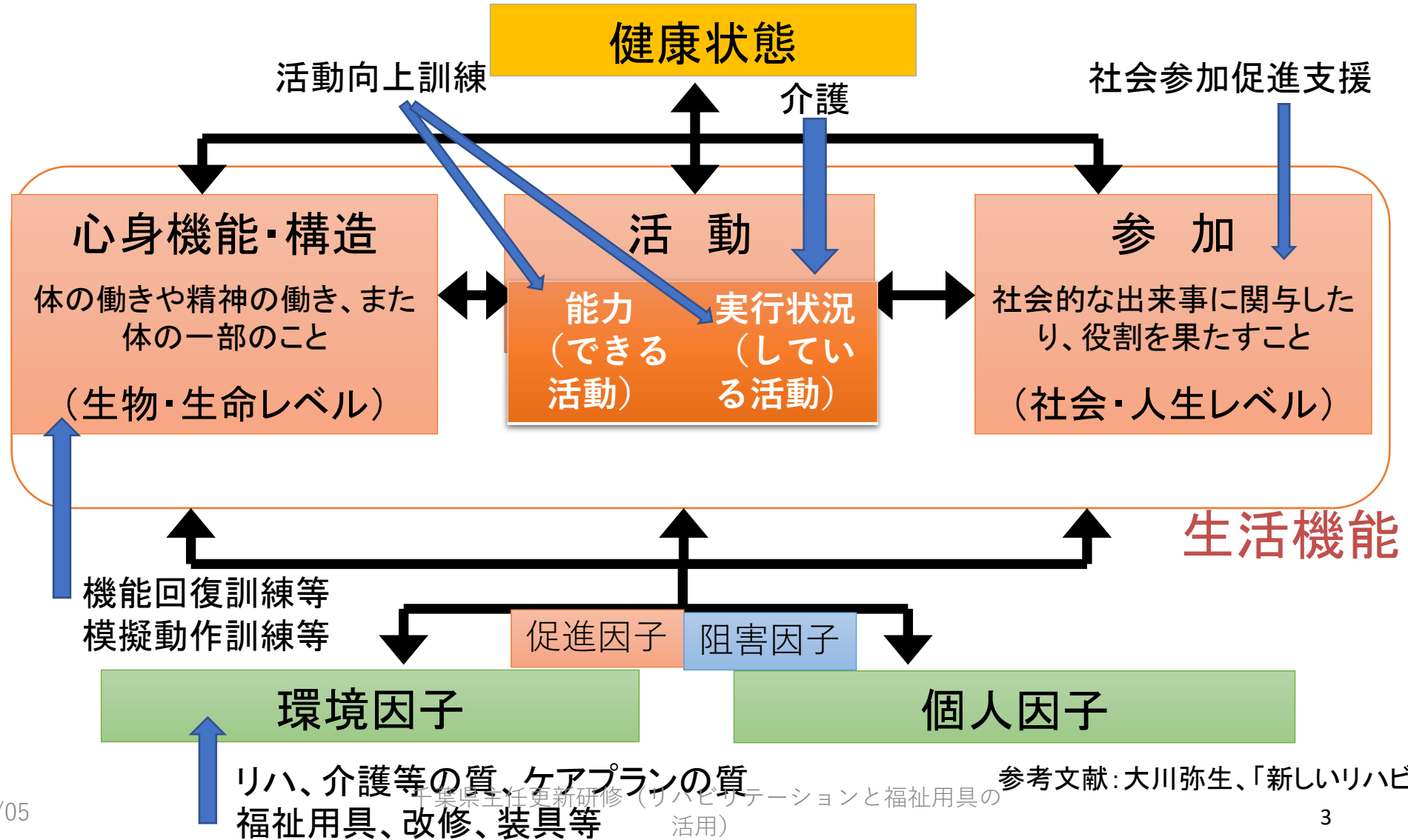
科学的介護情報システム (Long-term care Information system For Evidence; LIFE ライフ)

#### 【PDCAサイクルの推進 (イメージ)】



## LIFE ライフ

# リハビリテーションの視点でアセスメントができてしているか

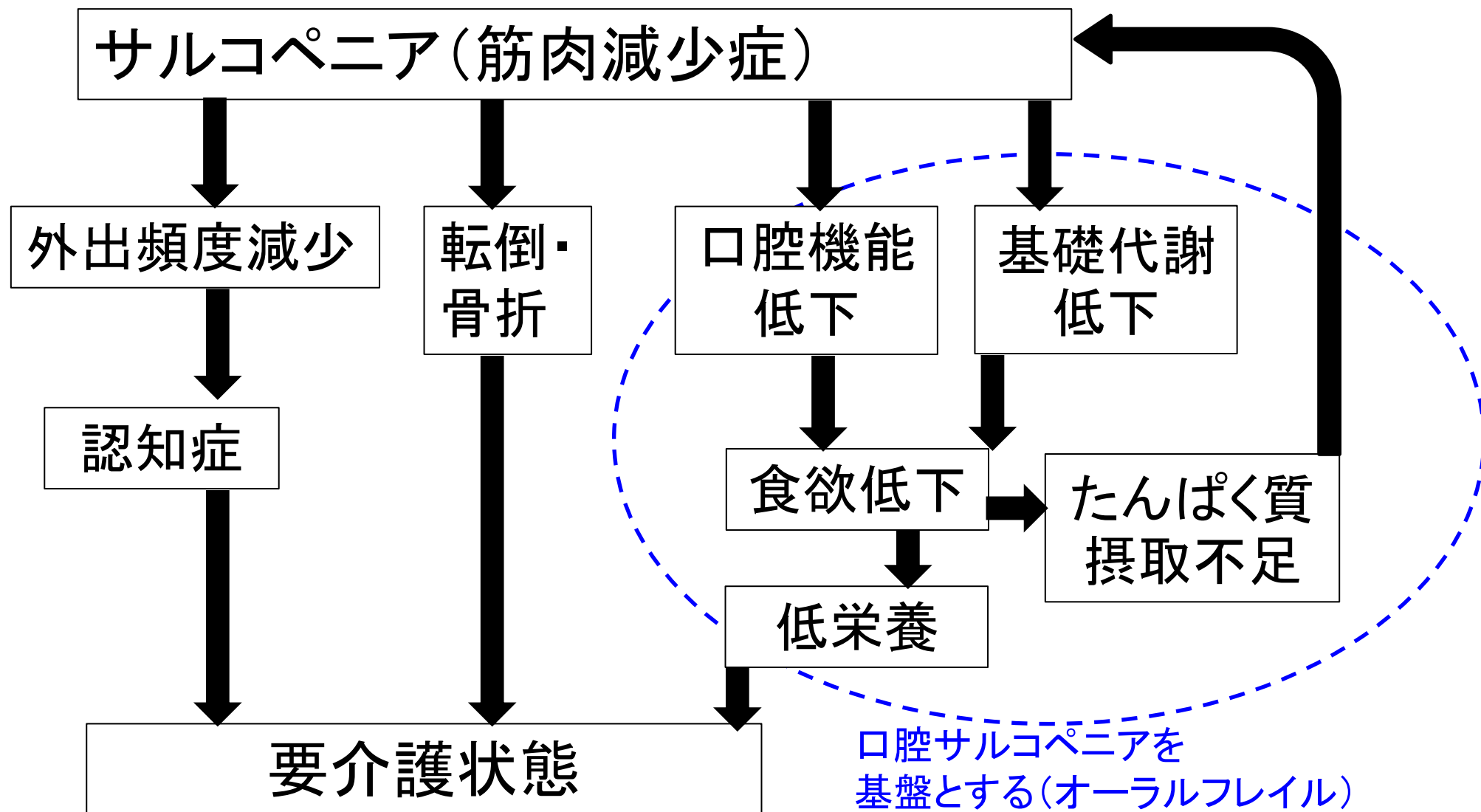


# 福祉用具、住宅改修の必要性、適正な利用

## 指導助言のポイント

- ・「できること」が増えるか。
- ・「していること」が安全になるか。
- ・介護負担軽減につながっているか。
- ・リスク管理。使用法が自己流になっていないか。
- ・身体機能の変化により、不適合が起きていないか。
- ・消耗品などに不具合はないか。
- ・住宅改修の設備などに不具合はないか。

# 要介護の入り口としての『サルコペニア』



# 『食支援』と『口腔機能管理』

